

2023年8月期 第2四半期 (2022年9月～2023年2月)

# 決算説明会

株式会社アドテックプラズマテクノロジー  
東証スタンダード  
証券コード：6668



# 2023年8月期 第2四半期連結業績

## ▶ 連結売上高 58億円

- 半導体の在庫調整、米中問題の影響により受注環境は悪化、部材の長納期化により生産量の引き上げには至らなかったため、売上高は計画を下回る水準にて推移。

## ▶ 連結営業利益 9億円

- 資源・エネルギー価格の高騰等を受け、製造原価等のコスト上昇により、利益は低調に推移
- 研究機関・大学関連事業においては、シリコンウエハ引上げ装置向け電源の出荷等により売上・利益ともに堅調に推移

# 連結業績概要

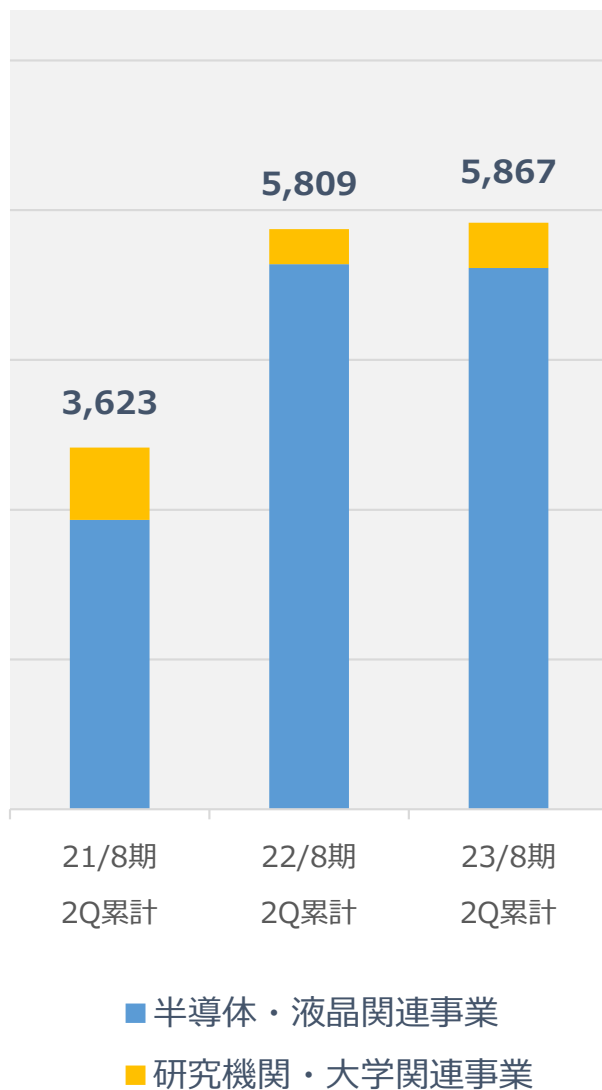
(単位：百万円)	22/8期 2Q累計実績	23/8期 2Q累計実績	前年同期比 (増減率)	予想比	
				23/8期 2Q累計予想	増減 (増減率)
売上高	5,809	5,867	58 (1.0%)	6,700	▲833 (▲12.4%)
売上総利益	2,508	2,341	▲167 (▲6.7%)	-	-
営業利益	1,236	939	▲297 (▲24.0%)	1,250	▲311 (▲24.9%)
経常利益	1,298	810	▲488 (▲37.5%)	1,390	▲580 (▲41.7%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	945	593	▲352 (▲37.3%)	990	▲397 (▲40.1%)

# 連結売上高・営業利益の推移



## セグメント別売上高推移

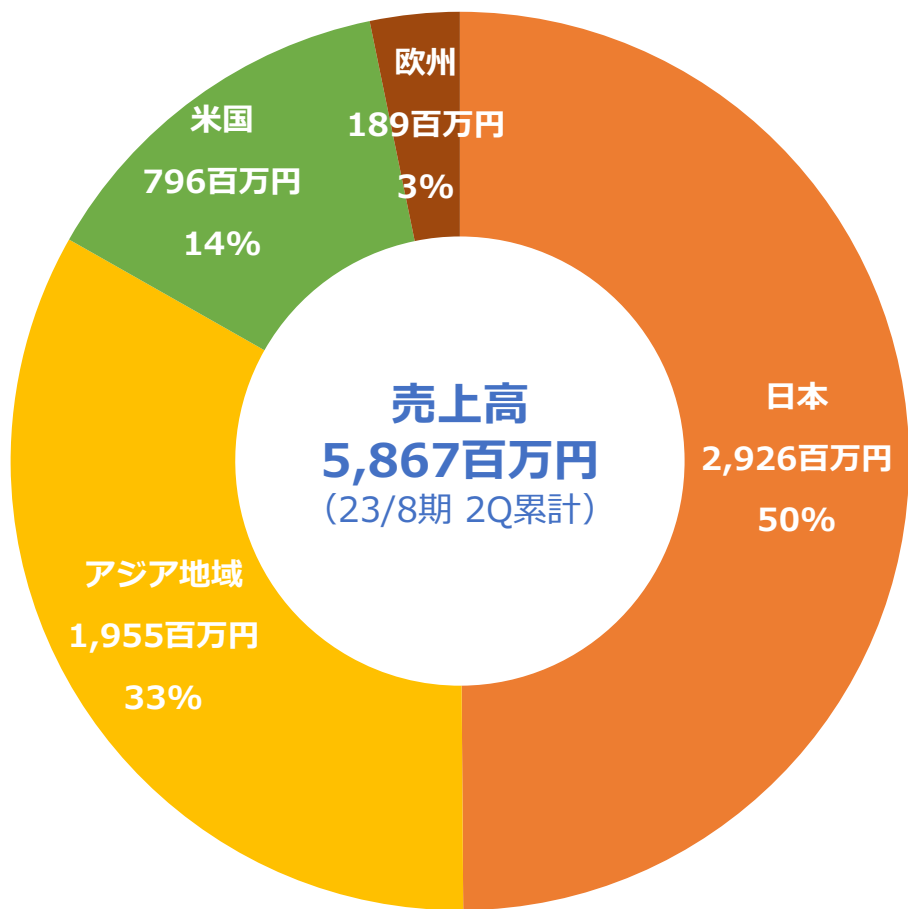
(単位：百万円)



(単位：百万円)		22/8期 2Q累計	23/8期 2Q累計	前年同期比 (増減率)
半導体・液晶 関連事業	売上高	5,458	5,418	▲40 (▲0.7%)
	営業利益	1,208	885	▲323 (▲26.7%)
研究機関・大 学関連事業	売上高	351	449	98 (27.9%)
	営業利益	▲16	25	-
連結 損益計算書 計上額	売上高	5,809	5,867	58 (1.0%)
	営業利益	1,236	939	▲297 (▲24.0%)

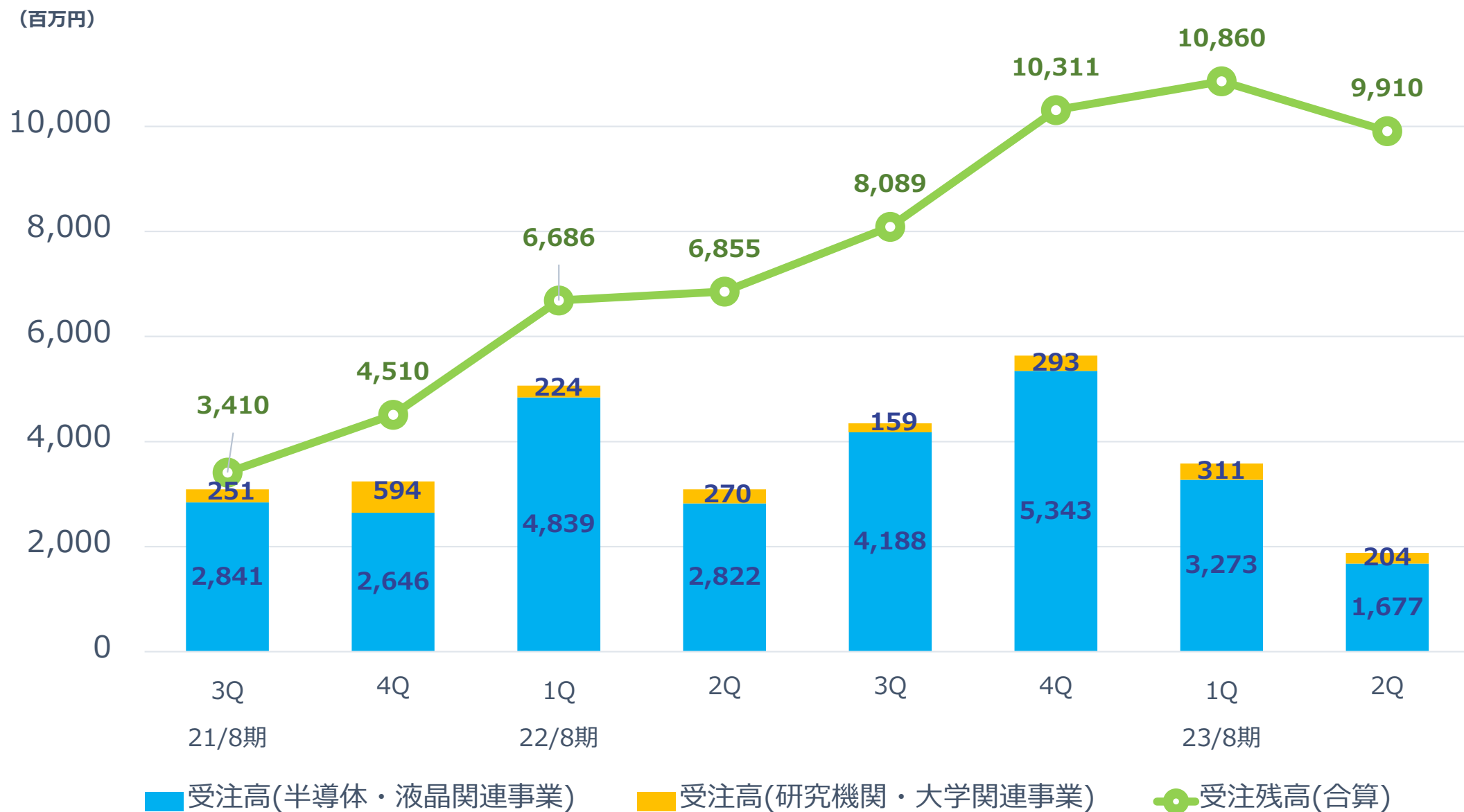
※各セグメントの営業利益は、セグメント間取引を含む

## 地域別売上高



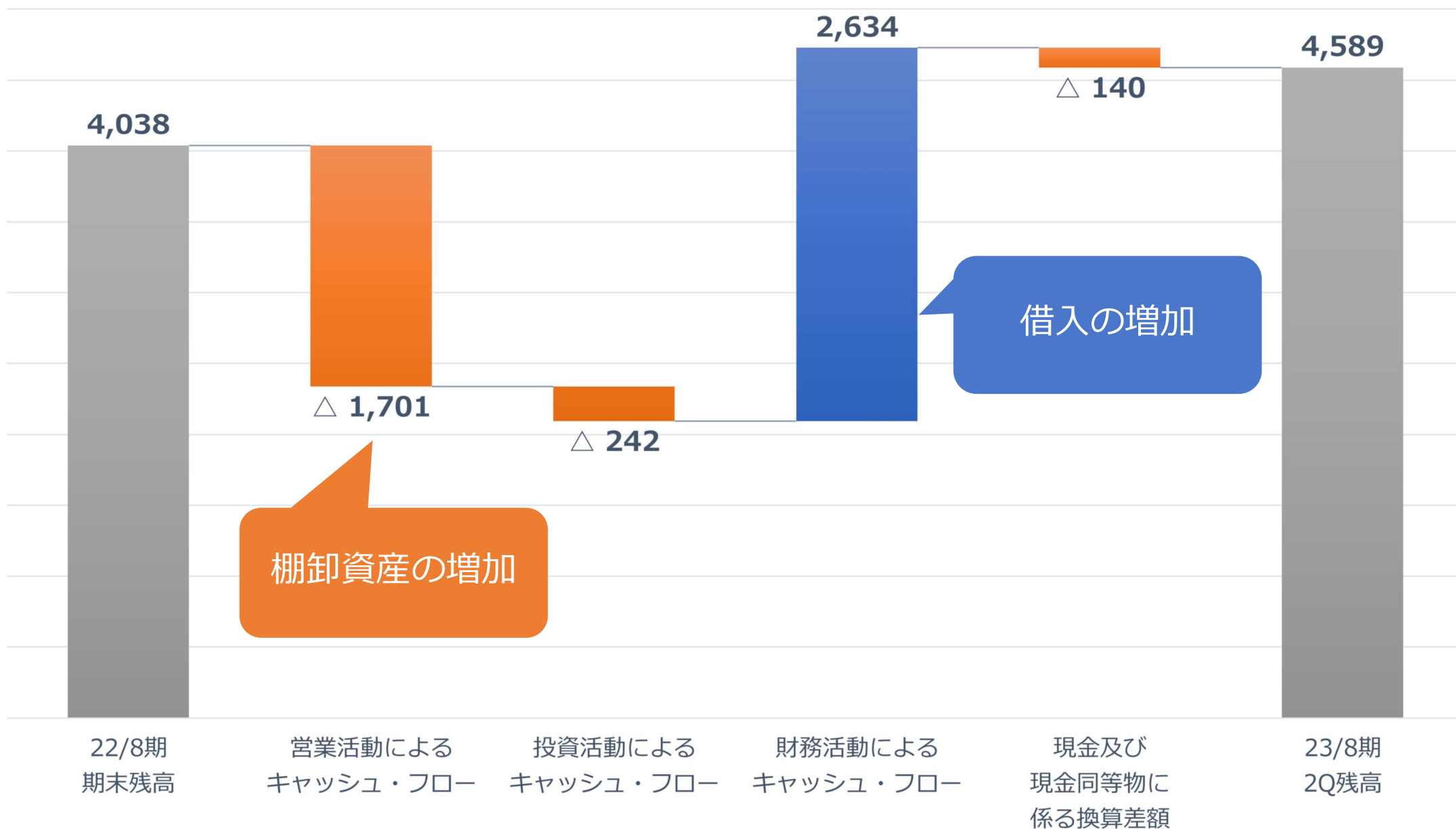
(単位：百万円)	23/8期 2Q累計	セグメント別内訳	
		半導体・液晶 関連事業	研究機関・大 学関連事業
■ 日本	2,926	2,477	449
■ アジア地域	1,955	1,955	-
■ 米国	796	796	-
■ 欧州	189	189	-
合計	5,867	5,418	449

# セグメント別受注高・受注残高推移





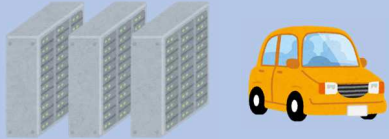



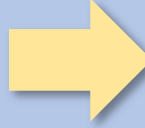














# 連結キャッシュ・フロー



# 2023年8月期 連結業績予想

業界		2023年 (1月~6月)	2023年 (7月~12月)	2024年 (1月~6月)	内容
半導体	メモリ 				スマホ・PC需要の低下、メモリ価格の下落、在庫調整、メモリメーカーの設備投資が延期等の状況を鑑みて、来年前半までは、調整期間になると予測。
	ロジック 				5G・スマホ・PC・AI・車載・データセンター他すべての製品に関して必要な半導体であり、今後も最先端以外の需要は顕著に続くと考えられる。ロジックメーカーの設備投資に関しては、延期・縮小傾向がみられるが、2024年前半からは回復していくと予測。
	イメージセンサ 				スマホ・PC需要が減るが、車載他で需要があり、大幅な在庫調整にはならないと予測。今後も2022年同等規模で設備投資が行われ、2024年以降さらなる設備投資が見込まれると予測。
	車載半導体 				世界の自動車メーカーによる電気自動車の普及拡大、自然エネルギーの普及拡大は今後も続くと予測され、それに伴いパワー半導体メーカーは設備投資を続けていくと予測。
光学系	スパッタ・蒸着 (有機EL・FPD含む) 				スマホ・タブレット・PCなどに使用されるPVD(スパッタ)装置に関しては、需要減の影響により設備投資が延期になっているが、新モデル開発にあたり、2024年以降は設備投資が保たれると予測。スマホ・PC顔認証、防犯カメラAR・VRに必要なレンズ用蒸着設備は現状、安定需要で推移。2024年以降は在庫調整が終わりさらなる設備投資を予測。

# 連結業績予想

(単位：百万円)	22/8期 実績	23/8期 予想	増減 (増減率)	備考
売上高	12,337	12,400	63 (0.5%)	<p><b>【半導体・液晶関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>△ 半導体の在庫調整による設備投資の延期もあり23/8期予測に関しては前期のような受注増は見込めず。</li> <li>△ 部材納品遅延は解消されていない為、生産増加が当初見込みから遅れが生じており、現時点の部材納品状況を踏まえて、当下半期の売り上げ見直しを見直し。</li> <li>△ 資源・エネルギー価格の高騰等を受けた製造原価等のコスト上昇により、利益を見直し。</li> <li>△ 世界各地からの新規装置案件の急激な増加に対応するための人件費、試験研究費の増加を見込む。</li> <li>△ 今後2030年までの市場規模の拡大を考え、DX・GX強化、営業・サービス・生産等トータル体制の強化による経費増加。</li> </ul> <p><b>【研究機関・大学関連】</b></p> <p>続官新民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界全体の民間企業への直流・バイポーラ・マイクロ波電源、新規製品開発、受注獲得強化。</li> <li>・ 医療、研究機関向け加速器用電源市場の拡充。</li> <li>・ 直流電源(バイポーラ含む)ラインナップの拡充。</li> </ul> <p><b>«今後の取り組み»</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長納期部材の調達強化。</li> <li>・ 納期、価格面を考え、部品選択を増やし納期短縮・売上・利益を伸ばす。</li> <li>・ 今後の半導体市場動向を加味した生産キャパ拡大⇒生産キャパ1.5倍、コスト削減、納期短縮。</li> <li>・ 新規装置案件獲得の為、設計キャパ拡大1.5倍を目指す。</li> <li>・ 生産性の向上⇒ADTECグループ全体のシステム構築。</li> <li>・ 中国、台湾、韓国の現地装置メーカーの新規装置案件獲得。売上2倍を目指す。</li> <li>・ 資材部門の効率化⇒佐野事業所において自動倉庫稼働。</li> <li>・ 今後の市場動向を見据えた新規製品の開発・計測技術製品の開発。</li> <li>・ ベトナム第2工場稼働。今後3倍の生産キャパ。</li> <li>・ 売上増を目指すため、半導体以外の市場獲得強化。</li> <li>・ 研究機関・大核関連事業の海外サポート体制の強化。</li> <li>・ バイポーラ ベトナム子会社にて量産化。</li> </ul>
営業利益	2,735	1,900	▲835 (▲30.5%)	
経常利益	3,051	1,700	▲1,351 (▲44.3%)	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,174	1,200	▲974 (▲44.8%)	
1株当たり配当金 (年間) (円)	14	16	2	

# 連結売上高・営業利益の推移（通期）



# トピックス

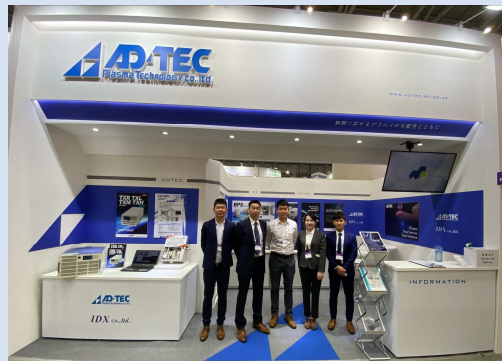
## 2022年9月~2月開催 製品展示会

会場への来場者数は、コロナ禍以降最高となる。  
海外（主に米国、台湾、韓国）企業からも多数の来場。ADTECのブランド認知度が拡大していることを実感。

## SEMICON JAPAN（日本） 2022.12.14~12.16



## SEMICON TAIWAN（台湾） 2022.9.14~9.16



## SEMICON KOREA（韓国） 2023.2.1~2.3



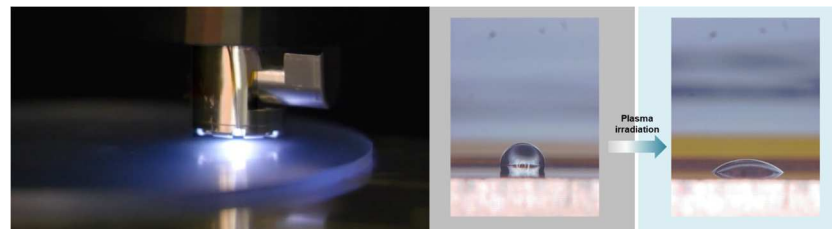


PlasmaTact  
MICROWAVE PLASMA GENERATION



## 大気圧ガスプラズマシステム“PlasmaTact”

- 大気圧下でプラズマを生成
- コンパクトで持ち運び可能（真空関連設備不要）
- アルゴンガスをプラズマ化（オゾンやNOxの生成を抑える）
- 低電圧、低温のプラズマ照射が可能



プラズマ化したアルゴンガスを用いて、プラスチックなど熱可塑性樹脂や熱硬化性樹脂、金属、ガラスの表面を疎水性から親水性に変える**表面改質**が可能

**難接着材料の前処理、有機物の洗浄への応用が期待できる**

クルマの最先端技術展  
オートモーティブワールド 出展  
2023.1.25~1.27

金属・樹脂の接着に課題を抱える多くの企業から  
ご興味をいただきました。今後の需要に期待。





## ADTEC Korea

営業力をさらに強化し韓国市場への拡大を図る。



アジアグループ会社の名称を統一

グループ会社間の連携をより一層強化し、ADTECグループとしてさらなる事業拡大を図る。

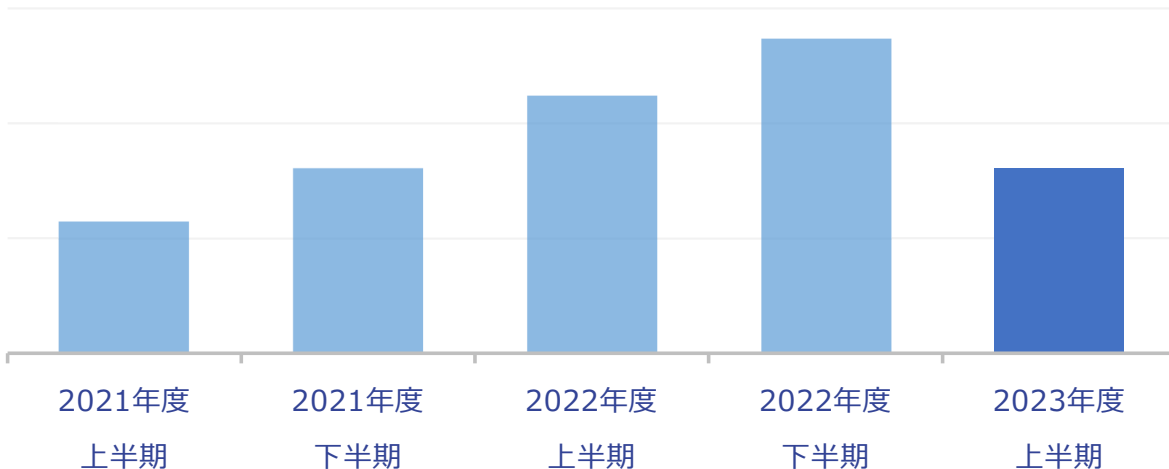
韓国、台湾、ベトナムに引き続き、中国子会社の名称を統一。

国	新商号
韓国	ADTEC Plasma Technology Korea Co.,Ltd.
台湾	ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.
ベトナム	ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.
中国 (2022年11月付)	ADTEC Plasma Technology China Ltd.

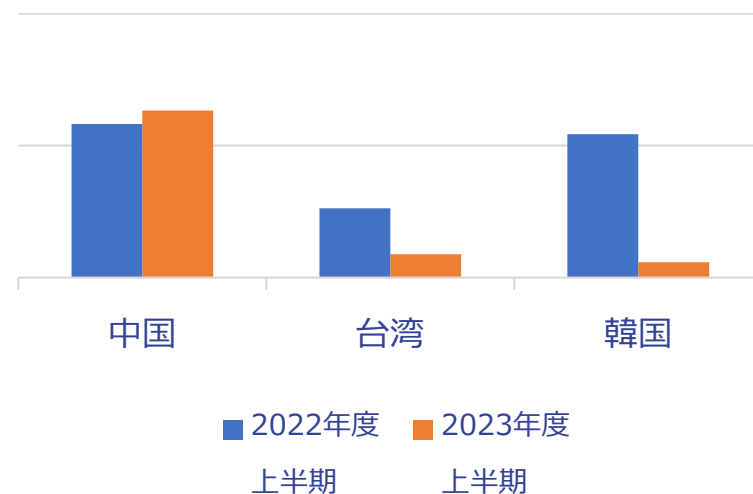
■ 受注高は、単体ベース

## 受注高の半期推移

■ 2020年9月から2023年2月までの受注高(半期ベース) の推移

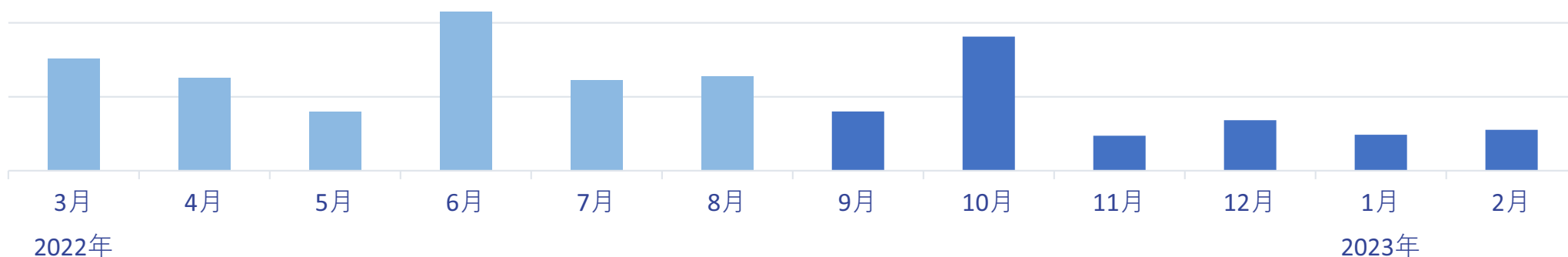


## 中国・台湾・韓国 地域別受注高



## 受注高の月別推移

■ 2022年3月から2023年2月までの受注高の月別推移



# 半導体事業 地域別売上高

- 地域は、中国・台湾・韓国
- 売上高は、単体ベース

(百万円)

1,000

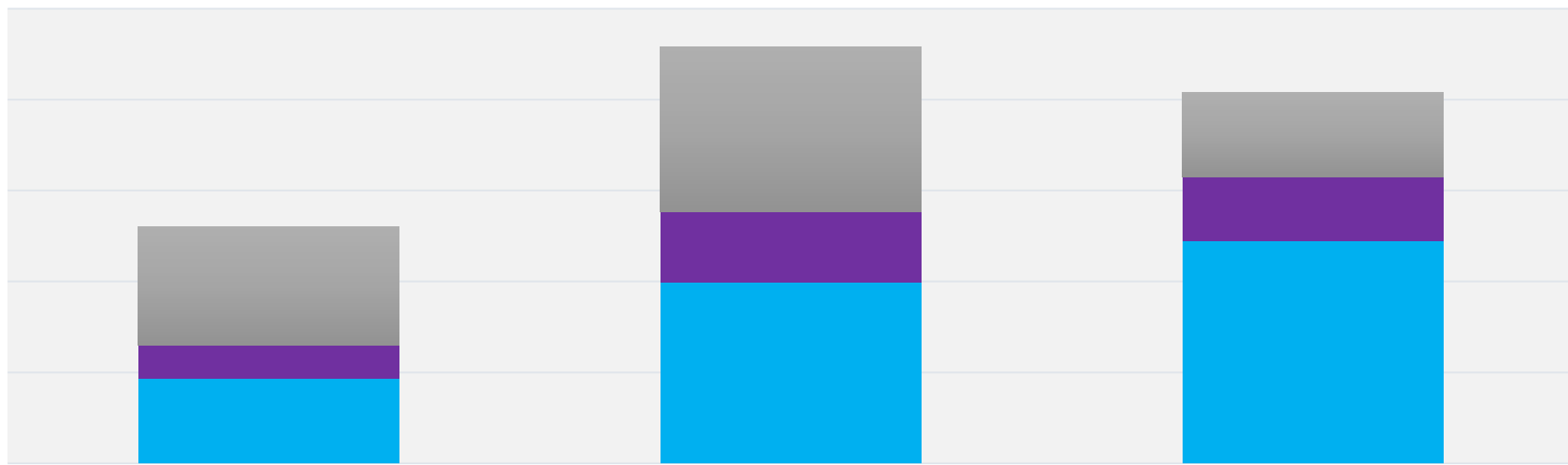
800

600

400

200

0



21/8期  
2Q累計

22/8期  
2Q累計

23/8期  
2Q累計

■ 中国

186

398

488

■ 台湾

73

155

142

■ 韓国

262

363

185

## 生産能力状況 (2023年2月末現在)

### グループ生産実績

ベトナム：680台 韓国：200台 佐野他：300台 計1,180台

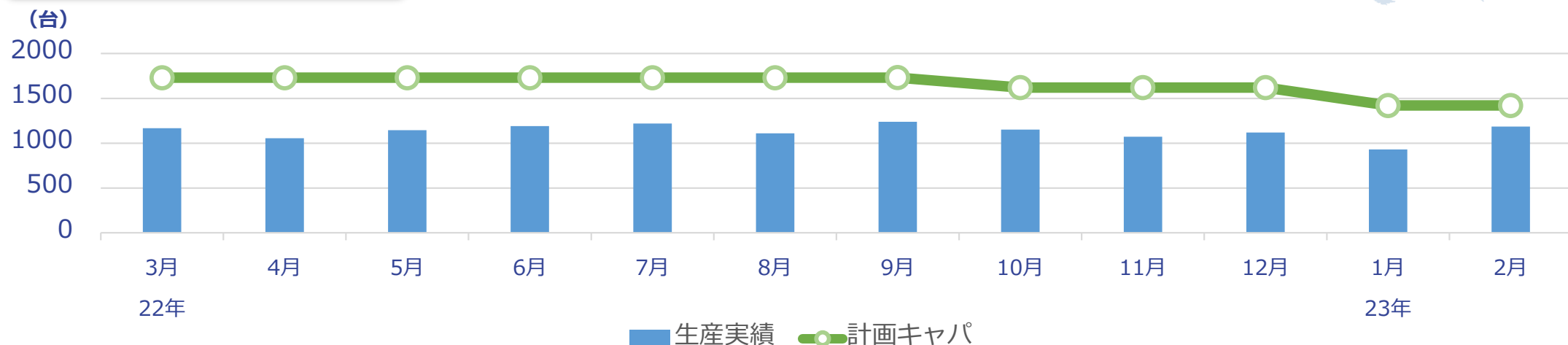
### グループ最大生産能力

ベトナム：860台 韓国：200台 佐野他：360台 計1,420台

## 部材調達環境

半導体部品の長納期化に対して、代替品の検討、部材の確保等に注力。

## 生産台数の推移





## 2023年2月 建設状況



基礎工事が終わり、各階のコンクリート打設工事が進行中。完成予定の2023年7月完成引渡しに向け、工事は順調に進んでいる。

第2工場棟（3階建） 15,950m<sup>2</sup> 駐車場棟 6,675m<sup>2</sup>  
2023年7月末 完成引渡予定



本社隣接地に新社屋「アクティベーションセンター」を竣工。  
現存する施設内の設計業務エリアを拡大するにあたり、新社屋を竣工。



アクティベーションセンター外観

所在地	広島県福山市引野町五丁目6-13
延床面積	387.92㎡
階数	地上3階建 1階：駐車場 2階：営業部、ミーティングエリア 3階：会議室、カフェスペース

## 内部の様子

### カフェスペース▶

社員が自由に利用できるフリースペース  
社員同士の意見交換、交流の場として活用



### ◀会議室

設計部拡大に伴い、会議室を新社屋へ移設

## 設計業務エリア拡大

現存施設デザインセンター4階（122.27㎡）が設計業務エリアとして拡大

# 製品ラインナップ充実の取組

## 既存シリーズの製品開発

RFG	TXL	430kHz 300W	量産機 開発中	MU	AMVS	13.56MHz 20000W	開発中	バイポーラ 電源	1000V 50A 20kW	開発中
	TXR	13.56MHz 2000W	量産機 開発中						1000V 25A 10kW	開発中
		13.56MHz 20000W	量産機 開発中						1000V 75A 30kW	開発中
		13.56MHz 10000W	量産機 開発中			ソースDC3A 電源	1500V 3A 1000V 0.8A 5300W	試作機 評価中		
	TXM	2MHz 2500W	New				2MHz 3000W	New	マイクロ波 整合器	2.45GHz 1kW用
	TXH	60MHz 3000W	量産機 開発中							

## 新シリーズ・省エネルギー対策の製品開発

RFG	新シリーズ：高速制御電源	CPUのVer.up 高速制御の実現 制御機能を高精度化し、出力安定度の向上
	省エネルギー：高効率電源	高効率により使用電力・水を抑えることが可能 AC-RF変換効率向上 半導体製造装置の消費電力低減を実現
MU	電子マッチャー	電圧で容量変化するため、物理的な動きがなく速度が速い

■ RFG=高周波電源 ■ MU = マッチングユニット

# ご参考資料



会社	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
設立年月日	1985年1月
所在地	広島県福山市引野町五丁目6番10号
決算期	8月
資本金	835百万円（2023年2月末）
代表者	代表取締役社長 森下 秀法
従業員数	連結：494名（2023年2月末） 単体：173名
セグメント	半導体・液晶関連事業 研究機関・大学関連事業
連結子会社	Adtec Technology, Inc.(米国) Adtec Europe Limited(英国) 株式会社IDX(栃木) ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.(ベトナム) ADTEC Plasma Technology Korea Co.,Ltd.(韓国) ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd. (台湾) ADTEC Plasma Technology China Ltd.(中国) Adtec Healthcare Limited(英国)

## 半導体・液晶関連

半導体製造装置内でプラズマを発生させる高周波電源を主力製品とした関連製品の設計、製造、販売、サービスの提供

### ユーザー

- 半導体製造装置メーカー
- 光学機器メーカー etc.

### 主力製品

- 高周波電源 (RFG)
- マッチングユニット (MU)
- 計測機器

### 会社名

株式会社アドテックプラズマテクノロジー  
Adtec Technology, Inc.  
Adtec Europe Limited  
ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.  
ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.  
ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.  
ADTEC Plasma Technology China Ltd.  
Adtec Healthcare Limited

## 研究機関・大学関連

医療現場、国の研究機関等において使用される、治療装置や実験施設等の電源装置の設計、製造、販売  
半導体・光学分野向け製品の開発

### ユーザー

- 国の研究機関
- 大学及び大学病院
- 一般産業 etc.

### 主力製品

- 粒子加速器電磁石励磁用電源
- 直流電源
- マイクロ波応用機器
- 高電圧電源

### 会社名

株式会社IDX

## アドテックグループの強み

### ▶顧客目線のきめ細かい技術サービス対応

日々進化する半導体製造装置に求められる高周波電源の開発の対応力  
電源専門メーカーとして高度化する顧客開発ニーズへ柔軟に対応できる

### ▶電源に特化した経営を行う事により、電源開発に注力でき、市場を取り込む等の意思決定が早い

周波数の安定性を重視した、高耐久性の製品開発力  
高周波電源の他、小型DC電源から大型キッカー電源、マイクロ波製品など多くのバリエーションを扱える

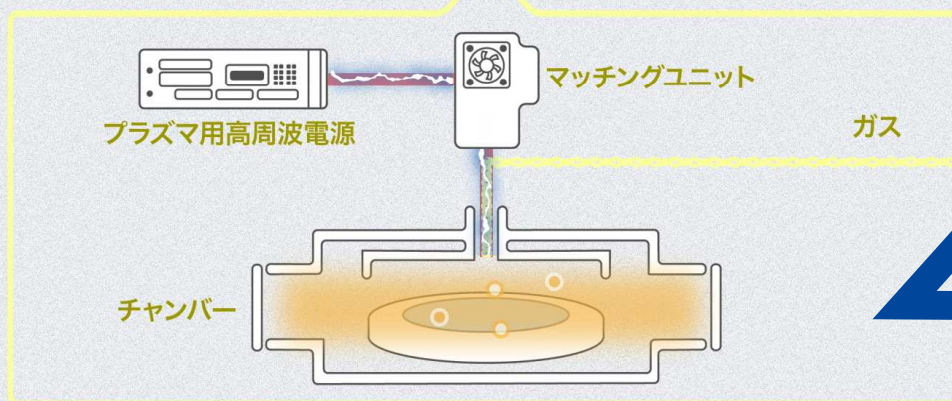
## RFG・MUの使用工程例 (シリコンウエハー上に作られるICチップの前工程)



安定性  
Stability



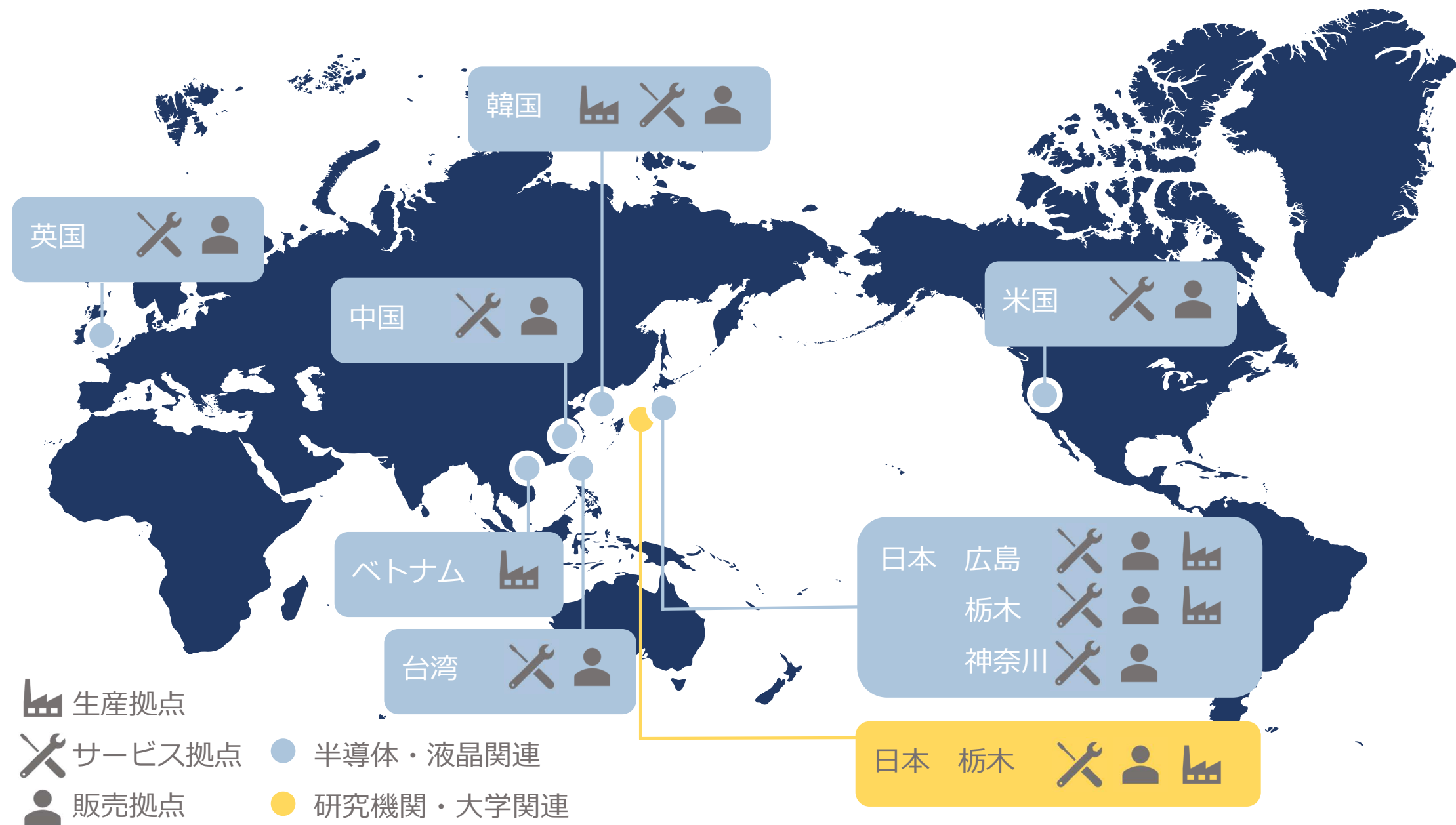
耐久性  
Durability



求められるのは  
**安定性と耐久性**  
に優れた  
高性能な高周波電源

ICチップの性能を左右する重要なプロセスでは、  
チャンバー内を常に**安定したプラズマ状態**にする必要がある

- プラズマ高周波電源 = RFG
- マッチングユニット = MU



# ご清聴ありがとうございました。

■ 将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて当社が判断したものであり、様々な不確定要因を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。